

平成 21 年 6 月 29 日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18730458

研究課題名（和文）「間接的ドラマ法」の心理臨床場面適用に関する研究

研究課題名（英文）A Study on the Adaptation of “Projective Drama Therapy” to Therapeutic Practices

研究代表者

岡本 直子（OKAMOTO NAOKO）

立命館大学・文学部・准教授

研究者番号：50389615

研究成果の概要：

本研究では、ミニチュアの舞台と人形を用いて即興劇を行い、それについて振り返る手続きを「投影ドラマ法（旧名称：間接的ドラマ法）」と名付け、心理臨床場面での活用を目指した。「投影ドラマ法」を用いた継時的調査のデータを、即興劇で表現される感情やテーマに焦点を当て、見守り手である調査者との関係性も踏まえて事例的に考察した。また、臨床場面で用いるのにふさわしい「投影ドラマ法」の用具について過去の調査データと文献に基づいて検討を行い、舞台、背景場面、人形を作成した。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	700,000	0	700,000
2007年度	300,000	0	300,000
2008年度	600,000	90,000	690,000
年度			
年度			
総計	1,600,000	90,000	1,690,000

研究分野：臨床心理学、社会心理学、公衆衛生学・健康科学

科研費の分科・細目：心理学・臨床心理学

キーワード：(1)投影 (2)ドラマ (3)表現 (4)臨床 (5)即興 (6)振り返り

(7)見守り (8)関係性

1. 研究開始当初の背景

本研究では、ミニチュアの舞台と人形を通しての即興劇とそれについての振り返りが心理臨床実践における治療的手だての1つとなると考えた。そしてこれを「投影ドラマ法（申請時、「間接的ドラマ法」）（図1）と名付け、心理臨床場面での活用を目指した。

報告者はこれまで、「投影ドラマ法」を基

礎的研究の中で用い、表現することがもつ治療的意味を探求してきた。研究を進めるなかで、このようなミニチュアの舞台と人形を通しての即興劇と振り返りの作業は研究の知見を与えるに留まらず、次のような治療的可能性を有することが示唆された。即興劇に関しては、1)創造性や遊び心等のプレイフルネ

スの賦活、2)自己のテーマの表出、3)自己の意外な側面への気づき、4)過去の再現とやり直し、5)カタルシス、等の可能性を「表現者（「表現する者」の意味で以下こう記す）」にもたらすことが示された。また、振り返りの作業は上記の5つの可能性を促し、「表現者」と見守り手との関係性の構築に寄与し、更なる治療的機序をもたらすことが示された。このため、報告者は「投影ドラマ法」が心理臨床場面で有効なものと確信し、治療の手だてという観点から研究を進めていくことにしたのである。



図1 「投影ドラマ法」の構成

2. 研究の目的

報告者は科学研究費の3年間の交付期間内に次の2つの目的の遂行を目指した。第一に、「投影ドラマ法」の心理臨床場面における有効かつ安全な活用に向けて、非臨床群を対象としたこれまでの調査研究のデータの分析を行い、その有効性に関して明確化を試みた。「投影ドラマ法」はどのような対象に適しているのか、留意すべき点は何か、どのような振り返りが適切か、いかに解釈を行うか等の明確化を目指した。なお、本研究で分析した調査データが臨床場面のクライアントを対象とはせず非臨床群を対象として得たものであった理由は次の通りである。いかに臨床場面において有効と思われる技法や手だてであっても、その有効性や注意点が明

確になっていない段階で臨床場面で用いることはクライアントの利益を損ねることになりかねず、心理臨床実践の倫理に反するからである。

第二の目的は、心理臨床場面での活用に適した「投影ドラマ法」の用具の開発であった。報告者はこれまでの研究では、E. Shneidman(1947)が開発したMAPS人格投影法検査用具の人形、背景図版、そして舞台を「投影ドラマ法」の用具として用いてきた。しかし、MAPS人格投影法検査用具は心理検査を目的に開発されたものであり、治療の手だてを前提としては考えられていない。また、人形の風貌が外国人をモデルとしたものであり、報告者が行った調査においてもこのことで戸惑いを感じる「表現者」が少なからずいた。これらのことから、治療という枠組みの中で違和感なく受け入れられ、日本文化に則した用具を作り直す必要性が感じられる。そのため、調査研究とともに日本の伝統芸能に関する文献研究を行い、適切な人形や背景図版選定の手がかりを得ることを目指した。また、これら作業を通して「投影ドラマ法」の用具を作製した上で、再度調査研究を行い用具の改善について検討を行った。

3. 研究の方法

(1)心理臨床場面における表現という現象を演劇との類似性に焦点づけた研究を、国内外の臨床心理学、演劇学等の関連文献に基づいて行った。

(2)「投影ドラマ法」を用いた継時的調査のデータをプロセスの観点から事例的に考察した。具体的には、即興劇や振り返り面接の内容を文字に起こした上で、見守り手である調査者との関係性を考慮に入れつつ次の2つの視点から考察した。1つは、

即興劇の中で表現される感情やテーマに焦点を当て、それらを「表現者」が振り返り面接の中でどのように意味づけていくかを考察した。2つめは、表現の豊かさの度合いが「表現者」の内省といかに関連しているかについて考察した。

(3)心理臨床場面における表現という現象を演劇との類似性に焦点づけ、臨床実践に基づいた事例研究に基づいて考察した。

(4)「投影ドラマ法」を用いた調査データと文献研究に基づき、臨床場面適用にふさわしい「投影ドラマ法」の用具について検討し、用具作成を行った。具体的には、過去に得られた調査データをもとに、「表現者」が語る用具の印象や使い心地等に焦点を当てた。また、文献研究を行い、日本の伝統芸能に関する知見も参考にした。これらに基づき、舞台（色、大きさ、材質等）、背景場面（色、絵柄、場面の種類）、人形（色、絵柄、大きさ、年代、性別、種類）等について検討し、作成方針を固めた。これら方針に基づき、舞台は工務店に作成を依頼し、背景場面と人形は報告者が作成した。

4．研究成果

(1)「投影ドラマ法」の有効性と限界について学会（日本心理臨床学会第25回大会）にて発表した。

(2)「投影ドラマ法」を用いた継時的調査を事例的に考察した。この考察を論文としてまとめ、学術雑誌（『質的心理学研究』）に発表した。

(3)心理臨床場面における表現という現象を演劇との類似性に焦点づけた研究を行い、

その成果を学会（日本芸術療法学会第39回大会）と学会誌（『心理臨床学研究』第25巻第4号）に発表した。心理臨床場面には「私」の役割を通してなされる表現と「私以外」の割を通してなされる表現が存在することを事例に基づいて考察した。また、「私以外」の役割を通じた表現に着目することで心理臨床場面における表現をとらえ直す手がかりを得ることが可能であるとの見解を示した。これは、自己の内的世界をミニチュアの人形の動きやセリフを通して表現する「投影ドラマ法」の心理臨床場面適用に向けての理論的橋渡しという意味で重要な意義がある。

(4)「投影ドラマ法」の用具（舞台、背景場面、人形）を作成した。この成果は学会（日本芸術学会第40回大会）にて発表した。

これらの成果は、生身の自己としてではなく媒体を通して表現すること、とくに「私以外」の役割を通して表現することの治療的意味を如実に示すものであり、心理臨床の新たなアプローチの可能性を示唆するものであると言える。今後はこの研究成果を国内のみならず国外にも発信することが課題である。既存の技法と「投影ドラマ法」との比較を行い、さらにその特色を明確にする必要性がうかがわれる。

5．主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計 2 件)

「心理臨床の場における『ドラマ』の意味 - ミニチュアの舞台と人形を用いた縦断的調査の一事例に着目して - 」岡本 直子

『質的心理学研究』No.6、pp.122-139、
2007年3月。査読有。

「心理臨床の場における表現に関する論考」岡本 直子 『心理臨床学研究』第25巻第4号、pp.444-453、2007年10月、査読有。

〔学会発表〕(計 4件)

「プロセスにみる投影ドラマの治療的意義 - ミニチュアの舞台と人形を用いて - 」岡本 直子 日本心理臨床学会第25回大会(関西大学)2006年9月。

「臨床場面における表現に関する論考 - 『ドラマ』という観点から - 」岡本 直子 日本芸術療法学会第39回大会(明治学院大学)2007年10月。

「心理療法における表現の意味 - ドラマという観点から」岡本 直子 ドラマセラピーフェスティバル2008(日本ドラマセラピー研究所)基調講演 2008年3月。

「投影ドラマ法」の治療的可能性と用具作成の試み」岡本 直子 日本芸術療法学会第40回大会(明治大学)2008年9月。

〔図書〕(計 1件)

『「ドラマ」がもつ心理臨床学的意味に関する研究』岡本 直子 風間書房 2008年3月 368頁。

6. 研究組織

(1)研究代表者

岡本 直子 (OKAMOTO NAOKO)
立命館大学・文学部・准教授
研究者番号：50389615

(2)研究分担者

なし

(3)連携研究者

なし